

## 0 理念・目的・教育目標

### 進捗状況報告

21世紀COEプログラム終了と同時に先端社会研究所が発足し、おおくのプログラムは先端社会研究所に引き継がれたが、予算が約1割となり、規模の縮小を余儀なくされている。そのため大学院GPほかの競争的資金に応募して、あらたな展開を図ろうとしている。ソーシャルサイエンスショップについては、外部資金などを使いながら、新規事業も開始している。人間福祉研究科の独立によって「2003年度自己点検・評価項目に設定した目標および2005年度自己点検・評価で記した「改善の具体的方策」の2」については同研究科に付託した。

### 学内第三者評価

2003年に設定した目標はかなり明確なものであるが、それらの達成状況の評価および人間福祉研究科の独立に際しての再検討が十分明らかでなく、それらを行うことが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
これまで、教育目標は明確に示されており、「専門社会調査士」資格取得者の増加など、高度専門職業人養成の結果が待たれるところである。新しく発足する先端社会研究所との協力により、高度な研究活動の展開が期待される。